

事業番号	292
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	小松寺土地区画整理事業特別会計繰出金				担当部	都市建設部				
	会計区分	一般会計		事業類型	施設整備系	担当課	区画整理課				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成27年度		担当係	庶務係			
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤	21 市街地整備	2 良好な住宅地を創出します						
		副目的	21-1								
	予算区分	款	2	項	1	目	1	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	土地区画整理法、尾張都市計画事業小牧小松寺区画整理事業計画									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	一般会計より小松寺土地区画整理事業特別会計に繰出金として予算措置をし、区画整理区域内の土地権利者及び周辺住民のため、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図り、健全な市街地を整備する。									
	内容 (手段)	<p>◆平成25年度実施内容 繰出金を活用し、実施した事業は以下のとおりである。 土地区画整理法に基づき、都市計画道路及び区画道路を配置・整備する。また、公園、緑地及び調整池等も一体的に整備する。 平成25年度は、2件の建物移転に伴う補償交渉を行うとともに230mの道路整備及び整備に係る現場の確認、設計、監理監督業務を行った。</p> <p>【繰出金の算出規準】 ・H25決算額＝196,403,562(歳入決算額)－7,534,562(繰越金等) ・H26予算額＝267,421千円(歳出予算額)－10,600千円(県支出金)－1,062千円(繰越金等)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	81,834	85,541	188,869	255,759	
	正職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		人件費	千円	0	0	0	0	
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	81,834	85,541	188,869	255,759	
	対前年比		%		104.5	220.7	135.4	
財源	一般財源	千円	81,834	85,541	188,869	255,759		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	道	道路整備延長(単年)	m	目標	40	30	230
実績				0	31	230	
建	建物補償件数(単年)	件	目標	0	1	2	
			実績	0	1	2	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			道	道路整備延長(累計)	m	目標	13,607
			実績	13,567	13,598	13,828	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の事業の達成状況	平成25年度は、補償交渉が難航している補償相手と継続的に交渉を進め、残り2件のうち、すべてについて契約することができた。また、道路整備延長も230mで目標を達成することができた。 結果、事業計画上の道路整備計画延長14,465.5mに対して平成25年度末の道路整備率は、約96%(整備済延長13,827.5m)である。		
	事業実施における課題	駅周辺の良い住環境整備を促進すべき市街地でありながら、緊急車両が進入できないような狭隘道路の問題が長期間継続することは、都市の防災性の向上や安心快適な市街地形成の観点で、地元住民に不利益を与える可能性がある。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	道路、公園等の公共施設と宅地整備を総合的に行う区画整理事業が事業途中で廃止・休止となった場合、これまでに土地利用を制限してきたことや、その他不利益を地区内権利者に与えることになるため損害賠償が想定される。また、都市計画法、土地区画整理法に基づいて決定された、都市計画決定、仮換地指定、事業計画等の取消は、現実的に困難である。よって、事業の早期完了を目指し、安全安心なまちづくりのため土地区画整理事業を継続的に進めていく必要がある。		
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	今年度については、残工事を早期に発注し、年度内完了をめざす。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	小松寺地区は、進捗状況が約96%(道路整備率)に達しており、補償困難者とも契約することができ、事業完了の目処がついたため、早期に換地処分等の事務を進め、終結を目指す必要がある。		
	27年度以降の改善案	小松寺地区は、早期完了を目指し、換地処分等の事業終結に向けた事務を適切に進める。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。